

～下記の研究を行います～

【*Pseudomonas aeruginosa* を対象とした 抗菌薬皮下投与の安全性、有効性に関する後方視的調査】

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 *Pseudomonas aeruginosa* を対象とした抗菌薬皮下投与の安全性、有効性に関する後方視的調査

【研究責任者】 田中 將晴

【研究の目的】 現状、治療選択肢がレボフロキサシンの経口投与しか無い、抗菌薬の静脈投与が困難な方の *Pseudomonas aeruginosa*（緑膿菌）感染症に対する安全な治療選択肢を確立するため

【研究の期間】 研究許可日～2027年3月31日

【研究の方法】

●対象となる方

2024年4月1日～2025年9月30日までに当院で *Pseudomonas aeruginosa* に効果のある抗菌薬を皮下投与された方。

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重

②疾患情報：

抗菌薬治療に関する項目（投与抗菌薬、1回量、1日投与回数、投与期間、溶解液の種類と量、投与速度、各種細菌培養結果）、感染症治療効果評価に関する項目（白血球数、好中球数、炎症、体温）等

【研究の資金源】

ありません

【利益相反】

臨床研究における利益相反（C O I（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われるかねない事態」のことです。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構奈良医療センター 薬剤部
〒630-8053 奈良市七条2丁目789番地
TEL0742-45-4591（代）
研究責任者 薬剤部 調剤主任 田中將晴